

算数科学習指導案

単元名：たしざん(2)

「10を超える足し算を頭の中で考えよう！」

(全9時間扱い中 第2時)

授業日時 令和3年11月9日(火) 第3校時

授業学級 1年2組

授業会場 1年2組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

答えが10を超える足し算をブロックを用いて解くことができる子どもたちが、10を超える答えの足し算を素早く計算しようとする場面で、4～9が出るサイコロを2つ使ってすごろくで遊ぶ活動を通して、答えが10を超える足し算をブロックを使わずに素早く計算できるようになる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 前時の振り返り	ア 10のかたまりを作った イ 指で数えた ウ 難しかった	・前時で出た考え方を整理して提示(10のかたまり、5のかたまり、手で数える、がっちゃんこで数える)	5
	2. 素早く計算するには？	エ 13! オ 私の方が早い キ ブロック使わない方が早い ク 10のかたまりを作るのが早い	・復習問題(9+4)を提示。分かった人にすぐ答えてもらう。 ・1番早かった人にどう考えたか聞く。 ・素早く計算するには、どんなやり方がいいか問う。 ※学習問題、学習課題を提示	10
	【学習問題】10を超える答えの足し算を素早く計算するには？			
	【学習課題】すごろくを使って素早く計算しよう。			
展開	4. すごろくで素早く計算しよう	サ 8と5だから…13マス進める シ 早くゴールしたい ス ○○さんはやい	・すごろくのルール説明(動画) ・やくそくを提示(スライド) ・やることがわかったか確認 ・班ごと机を合わせる 《スライド、サイコロ2種、コマ、マップ》 ※班ごとに活動する ※サイコロは56のみ、789のみの2種を使用。班の中で1人がゴールしたら4～9が出るサイコロを投入。	25
	【評価(対象)】すごろくで遊んで、ブロックを使わずに沢山計算する(参加態度)			
終末	5. 振り返り	セ 10を超えても余裕 ソ いっぱい計算した タ 簡単だった	・机を戻す ・感想(困ったこと、できるようになったこと)を聞く	7